



学校だより

令和8年1月8日
国分寺市立第三小学校
NO. 529
校長 堀田 直樹



「馬は人を映す鏡」～コミュニケーションの大切さ～

校長 堀田 直樹

あけましておめでとうございます。

新しい一年がスタートしました。学校に子供たちの元気な笑顔が戻って、教職員一同とても嬉しく思っています。保護者・地域の皆様におかれましては、よき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、ますます御健勝で幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます。

今年の干支は午（うま）です。私たち人間は古の頃から馬と共に暮らしており、犬や猫と同様にとても馴染みのある動物で、「前進」「力強さ」「コミュニケーション」の象徴とされてきたそうです。さらに、60年ぶりの丙午（ひのえうま）は、エネルギーッシュな年とされています。

「賢い馬 ハンス」って、ご存じでしょうか？ 1900年頃にドイツの新聞紙上をにぎわせ、世界中で大きな話題となった馬で、ハンスは計算をしたり文字を読んだり、音程が分かたりするというのです。最初は疑っていた学識経験者たちも、ハンスが足し算などの答えを、答えの数だけ蹄で地面を叩く様子を目の当たりにして、たいへん驚いたそうです。大方の予想を裏切り、誰が問題を出しても正解したので、何のトリックもないと確信し、奇跡の馬の出現に世界中が沸き立ちました。それにもかかわらず、まだ信じられないという人もおり、心理学者による調査が行われました。

その結果はどうだったのでしょうか？ やはりトリックは一切ありませんでした。ですが、ハンスは計算をしたり文字を読んだりできるのではなく、計算などができるように見えるわけが明らかになりました。出題者が答えを知っているとハンスの正答率は90%ですが、答えを知らないと10%に下がってしまうことを発見しました。ハンスは問題に答えているのではなく、出題者自身も周囲の人も気付いていない微細な動き（表情の変化やしぐさ、空気感などのわずかなサイン）から察知して相手の心を読み取り答えるという、非言語コミュニケーション能力をもっていたのです。

では、人間はどうでしょうか？ 人は生まれつき相手の感情を直感的に感じ取る能力をもっています。しかし、洞察力や共感力、思いやりなどの気持ちなど、人の心へ働き掛けるコミュニケーション能力は、絶えず研ぎ澄ましていかないと高まっていきません。価値観が多様化するグローバル社会において、えてして日本人は「自分の意思をはっきり伝えない」「発言力が低い」「謙虚さは能力の欠如」などと指摘を受けるが、日本固有の「以心伝心」や「阿吽の呼吸」「空気感を読む」などといった非言語コミュニケーションの共感力は、相手の考え方や価値観との違いを受け入れたり、互いに歩み寄るための折衷案を考えたりするときの“強み”になると思います。このことを礎とした上で、言語によるコミュニケーションをより豊かに活用していくことが、円滑な人間関係を築くことにつながるのではないかと考えます。

3学期の大きな行事の一つに「アートフェスティバル」があります。子供たちは同じものを見ていても、作品に対する見方や考え方、感じ方は皆それそれで、人によって見方や感じ方が違うことに気付くことができると思います。また、自ら問いを立て、作品の全体を見たり、細かい部分を見たり、複数の作品を比べたりするなど様々な視点からアプローチすることで、作者の意図や考えが見えてくることも、きっとあるでしょう。子供たちが自分の思いや考えを相手に伝わるように工夫しながらやり取りをしている場面をたくさん目にするようになりました。各自のコミュニケーション力を駆使して、互いの“よさ”を伝え合ってほしいと願っております。

結びに、本年も教職員一同、一人一人のよさを更に輝かせ、可能性を伸ばしていきたいと考えます。皆様の御理解と御協力をいただきながら、よりよい第三小学校にしてまいりますので、引き続き御支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

学校公開について

教務部

27日（火）3～4校時（10：40～12：15）は、1月の学校公開日です。いつもQRコードによる受付にご協力いただき、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。2月のアートフェスティバルに向けて、子供たちのアート活動の様子を参観していただき、家庭と学校の連携を更に深めていきたいと思います。ご多用のこととは存じますが、子供たちの学習や生活の様子をぜひご参観ください。（詳細は、下記「アートフェスティバルについて」をご参照ください。）

校内書初め展について

学芸的行事委員会

新しい年を迎える、1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で書初めを行います。書初めは、12月から書写の時間を使って練習を始め、冬休みにはご家庭でも取り組んでいただきました。1月の授業で、練習の成果を発揮し、仕上げの1枚を書き上げていきます。

展示期間：令和8年1月23日（金）～30日（金）※保護者の皆様は、1月27日の学校公開の日にご覧いただけます。

展示場所：1～4年…本校舎各教室前の廊下 5・6年…西校舎多目的ホール

アートフェスティバルについて

学芸的行事委員会

下記の日程でアートフェスティバルを開催いたします。アートフェスティバルでは、各学年の児童が、図工科や家庭科などの学習を通して取り組んできた作品を展示します。子供たちが表現活動を通して培ってきた力をご覧いただく機会となれば幸いです。また、1月27日には、展示だけでなく、制作も楽しむイベントとして、たてわり班の児童が共同制作をする「アート活動」もあります。その様子は、学校公開でご覧いただけます。作った作品は、その後のアートフェスティバルで、校内に展示します。また、アートフェスティバルでは、6年生が作品や活動について解説をする「アートガイド」も行います。

ご多用の折とは存じますが、ぜひご参観くださいますようお願い申し上げます。

記

アート活動：1月27日（火）3・4時間目（学校公開にて）

アートフェスティバル：2月12日（木）～2月14日（土）

【保護者鑑賞日】 2月12・13日（木・金）15:00～16:00

2月14日（土） 8:35～16:15

人権教育の取組について

人権教育推進担当 加勢 あかり

12月10日の世界人権デーに合わせて、12月4日～12月10日に三小人権週間を実施しました。

今年度は「子供同士のよりよい人間関係づくり」をテーマとし、道徳の教科書教材等を活用した授業を行いました。よりよい関係をつくるには「相手を思いやりいたわる心」「自分の大切さとともに相手の大切さを認める心」などをもつことが大事であることを学習しました。子供たちの人権意識を高め、改めて人権尊重のために自分にできることについて考えるよい機会となりました。3学期には、アートフェスティバルに向けて、たてわり班でもアート作品を制作します。他学年との交流を通して、一人一人ができる生かして活動に取り組んでいきます。

これからもご家庭や地域の皆様と連携しながら、一人一人が思いやりの心をもって生活できるよう、引き続き指導してまいります。